

山の腰より清泉湧出：  
大善寺境内より泉湧き 中山道を行く人の喉を潤す



撮影：2017年2月（東京都板橋区・薬師の泉庭園）

武蔵野台地から荒川低地へつながる崖線

この庭園は、江戸名所図会に登場した「清水薬師清水坂」を現代に復元されたものです。中山道（国道17号）のすぐ脇、静かな庭園内に泉が湧き、江戸文化のかわりを伝える四季折々の表情が見られます。

泉が伝える歴史の一場面

江戸時代に八代将軍吉宗が志村周辺で鷹狩りをした際に、大善寺に立ち寄り境内に湧き出す清水を誉めて、寺の本尊である薬師如来を清水薬師と命名したと伝えられます。（板橋区「薬師の泉庭園」揭示物より）

岡村幸二（JRRN会員）